

青森



私たちが育った町八戸・冬

青森県屋外広告美術業協同組合

副理事長 吉田 賢治

(株式会社ニシキデザイン)

ついでこの間、明けましておめでどうの挨拶をしたと思つたらあつという間に一月が過ぎようとしております。冬は冬らしくと思ひますが、雪に不慣れな地域にまで雪がどつさり降つて交通をマヒさせたり、農作物に被害を与えたり、燃料費が高騰するといったニュースが飛び込んできます。皆様の地域はいかがでしょう。

青森県でも青森市や弘前市といった津軽地方は、市街地でも積雪100cmを超えるくらい雪が降ります。木村理事長や私の住む八戸市は、青森県の太平洋側(南東)に位置し、あまり雪は多くありません。雪は少ないですが風は強く「凍(しば)れる」という感じでしょう。降つた雪は天候によつて溶けたり溶けなかつたりします。日中溶けて夕方冷え込んでくるとブラックアイスバーンになります。また、溶けなかつた雪はトラックや乗用車のスタッドレスタイヤで押し固められミラーアイスバーンになります。どちらも運転するには厄介で、あるかもしれないと思つていかないとすぐハンドルを取られたり後輪を振つたりします。緩い上り坂でも上がれないトラックや、緩い下り坂をタイヤをロックさせたままスツと滑つていく車を時々見かけます。この線橋や橋梁は事故多発地帯になります。通勤時間帯はよく大渋滞になるので、通常の

倍ぐらい時間的余裕を持たないと遅刻することになります。普段は六時頃の起床が、今は五時〜五時半くらいでしょうか。布団から出るのが少々つらいです。

こんな氷の世界で暮らしてきたので、スケートは身近なものでした。小学校一年生から、スケート教室がありました。週末は友人とアイススケート靴をもって屋外スケート場に行きました。小学生でもアイススケート靴を持っていて、スピードスケート・アイスホッケー・フィギュアスケートとまちまちでした。見た目のカッコよさで、アイスホッケー用の靴を持っているだけで皆から羨望のまなざしを受けていたと思います。人の間を縫う様に滑ったり、氷を削りながら急ブレーキをかけたりしながら400mリンクのアウトコースを滑っているのが、つこよく見えました。それとは対照的にインコースを前傾姿勢であつという間に追い越して何周も滑っているスピードスケーターは驚きでした。ゆっくりしたフォームなのにすごいスピードで追い越していくのを見ては不思議でありませんでした。真似しようとしてもどうやればいいのかわからない、教えてくれる人もいなかったのでただただ羨ましいと思つたものでした。へとへとになるまで滑つた後、帰り道では出店で揚げたてのアメリカンドックをケチャップ



つけて食べたり、繁華街の食堂で、格安の熱々もやしラーメンを食べるのが楽しみでした。昭和四十年代でしたが百二十円ぐらいだったと思います(あやふやです)

時は過ぎて令和五年二月二十八日より国体冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が開催されました。昭和二十二年の第二回国体冬季大会スケート競技会開催から数えて、開催数最多の十四回目になりました。二番目

に多い盛岡や日光の八回に比べても多いのがわかんと思ひます。現在は屋内400mリンクとアイスホッケー・フィギュアスケート用の室内リンクが3カ所あり、私たちの小さいころと比べると、とても恵まれた環境で隔世の感があります。国体フィギュアスケートでは坂本かおり選手が見事優勝したり、昨年十二月には羽生結弦選手が横浜市に続いて二回目の単独アイスショー「プロローグ」が開催されました。スピードスケートの高木三帆選手・小平奈緒選手も全日本距離別選手権大会で来八されるなど、世界のトップ選手が地元でみられる環境にあるというのはいくらも嬉しいですね。また子供たちにとつては、世界レベルの選手を間近で見られるというのはとてもいい勉強になると思ひます。世界レベルのスピードや力感、子供たちの成長のきっかけになるのではないかと思ひます。チャンスがあれば、子供たちに孫たちいろいろなものを見せ経験させたいと思ひます。

※写真は昭和44年八戸初のパイピングリンクオープン八戸市提供

事務局便り

昨年11月、2年間で中止されていた「東北6県公共キヤンペーン作品展」と「東北地区連合同会議」が青森県で開催されました。

各県関係者へご案内を差し上げましたところ、たいへん多くの方からご出席の回答を頂きまして、終了後の懇親会はとても賑やかな楽しいものとなりました。改めてお礼申し上げます。青森県を訪れて下さつてありがとうございました。

また、しばらくお会いできていなかった皆さまと、近況報告をしあい、時間が経つのが本当に短く感じられたひとときでした。今後、予定されている事業計画が、このまま繋がっていきますように願つております。

令和5年が、良い年でありますように。
本年もよろしくお願ひいたします

事務局員 野月 幸子